マルチメディア
ユーザー ガイド

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版：2009 年 3 月

製品番号：506145-291

製品についての注意事項

このユーザー ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピューターでは使用できない場合があります。

目次

1 マルチメディア機能

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア機能が含まれています。また、以下のようなマルチメディア コンポーネントが含まれている場合があります。

- オーディオ ディスクおよびビデオ ディスクを再生するオプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）
- 音楽を再生する内蔵スピーカー
- 独自のオーディオを録音する内蔵マイク
- サウンドを録音したり、動画を録画したりすることができる内蔵 Web カメラ
- 音楽、動画および画像の再生と管理を行うことができるプリインストール済みのマルチメディア ソフトウェア
- マルチメディアに関する操作をすばやく行うことのできるマルチメディア ボタンとホットキー

注記： お使いのコンピューターによっては、一覧に記載されていても、一部のコンポーネントが含まれていない場合があります。

ここでは、お使いのコンピューターに含まれているマルチメディア コンポーネントを確認する方法、およびマルチメディア コンポーネントを使用する方法について説明します。

マルチメディア コンポーネントの確認

以下の図と表で、コンピューターのマルチメディア機能について説明します。



名称		説明
(1)	内蔵マイク	サウンドを録音します
(2)	Web カメラ ランプ	点灯：Web カメラを使用しています
(3)	Web カメラ	サウンドを録音したり、動画を録画したり、静止画像を撮影したりします
(4)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカー、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、またはテレビ オーディオに接続したときに、サウンドを出力します **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください **注記：** ヘッドフォン コネクタにデバイスを接続すると、コンピューター本体のスピーカーは無効になります
(5)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピューター用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(6)	スピーカー（×2）	サウンドを出力します
(7)	ミュート（消音）ホットキー	fn + f6 を押して、スピーカーの音を消したり元に戻したりします

名称		説明
（8）	音量下げホットキー	fn + f7 を押して、スピーカーの音量を下げます
（9）	音量上げホットキー	fn + f8 を押して、スピーカーの音量を上げます

[HP MediaSmart]の使用

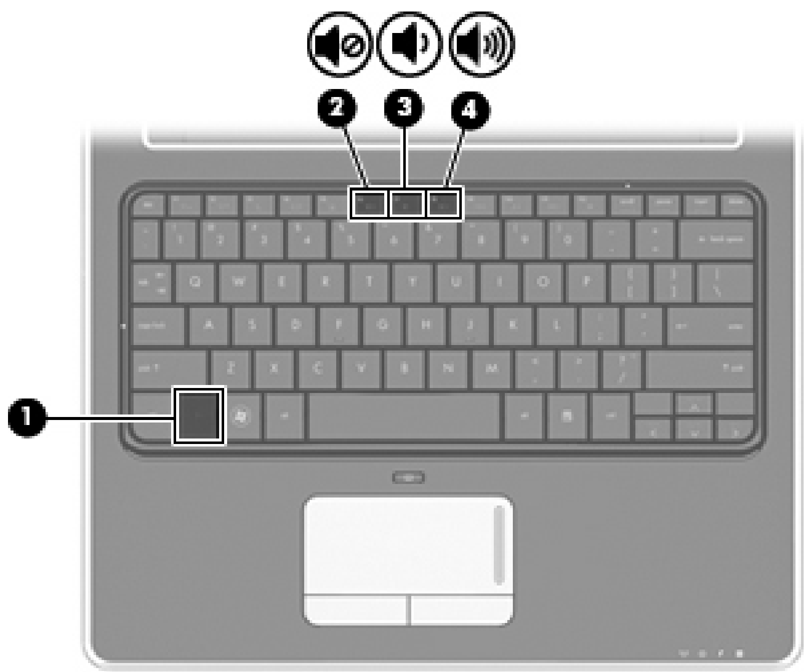
[HP MediaSmart]を使用して、映画を見たり、音楽を聴いたり、画像や動画を表示したりできます。

[HP MediaSmart]を使用するには、デスクトップの**[HP MediaSmart]**アイコンをクリックします。

音量の調整

音量の調整には、以下のどれかを使用します。

- コンピューターの音量ホットキー：fn キー（**1**）と、f6（**2**）、f7（**3**）、f8（**4**）のどれかのファンクション キーとの組み合わせです。
  - 音を消したり元に戻したりするには、fn + f6 を押します。
  - 音量を下げるには、fn + f7 を繰り返し押します。
  - 音量を下げるには、fn + f8 を繰り返し押します。



- Windows®の[ボリュームコントロール]：
  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。
  b. 音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。**[ミュート]**アイコンをクリックすると、音が出なくなります。

または

a. 通知領域の**[音量]**アイコンを右クリックし、**[音量ミキサを開く]**をクリックします。

b. [ボリューム コントロール]列で**[音量]**音量を調整するには、スライダーを上下に移動します。**[ミュート]**アイコンをクリックして音を消すこともできます。

[音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順に沿って表示します。

a. 通知領域で右クリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

b. **[通知領域]**タブをクリックします。

c. [システム]アイコンの下の**[音量]**チェックボックスにチェックを入れます。

d. **[OK]**をクリックします。

- プログラムの音量調整機能：

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

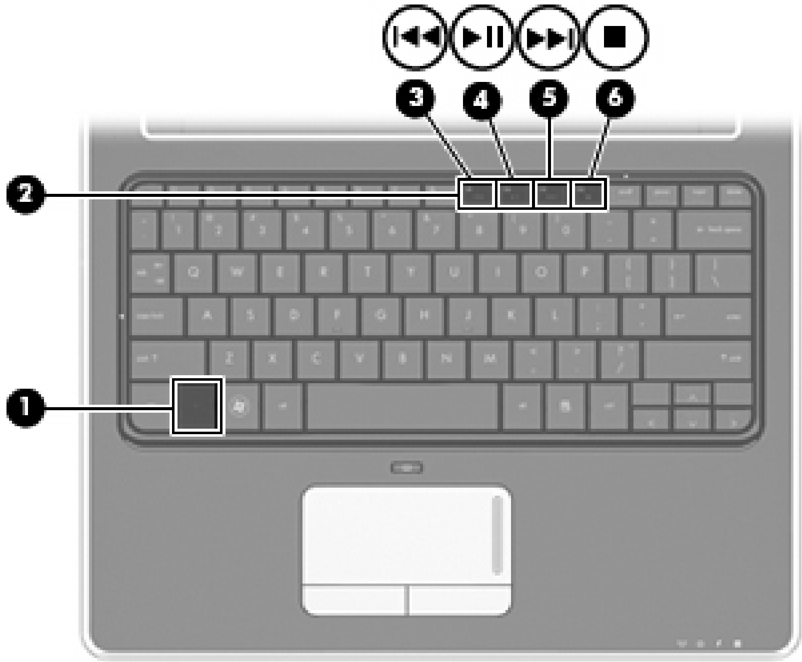
メディア操作機能の使用

メディア操作ホットキーは、[HP MediaSmart]または[Windows Media Player]が起動しているときに、オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）内のオーディオ CD、DVD、または BD（ブルーレイ ディスク）の再生を調整します。

メディア操作ホットキーの使用

メディア操作ホットキーは、fn キー（**1**）とファンクション キー（**2**）の組み合わせです。

- オーディオ CD、DVD、または BD が再生中でない場合、fn ＋ f10（**4**）を押すとディスクが再生されます。
- オーディオ CD、DVD、または BD の再生中は、以下のホットキーを使用します。
  - オーディオ CD の前のトラックまたは DVD か BD の前のチャプターを再生するには、fn ＋ f9（**3**）を押します。
  - ディスクの再生を一時停止または再開するには、fn ＋ f10（**4**）を押します。
  - オーディオ CD の次のトラックまたは DVD か BD の次のチャプターを再生するには、fn ＋ f11（**5**）を押します。
  - ディスクを停止するには、fn ＋ f12（**6**）を押します。


1
2
3
4
5
6

2　マルチメディア ソフトウェア

お使いのコンピューターには、音楽や動画を再生したり、画像を表示したりできるマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。ここでは、[HP MediaSmart]およびプリインストールされている他のマルチメディア ソフトウェアの詳細について説明します。

[HP MediaSmart]ソフトウェアの使用

[HP MediaSmart]によって、お使いのコンピューターが持ち運びのできるエンターテイメント ツールに変わります。[HP MediaSmart]を使用すると、音楽や DVD および BD の動画を楽しむことができます。また、写真コレクションの管理および編集を行うことができます。[HP MediaSmart]は以下の機能を備えています。

インターネット TV（一部のモデルのみ）：従来のさまざまな TV 番組とチャンネルに加え、インターネット接続によってコンピューターにストリーミング配信される HP-TV チャンネルもフル スクリーンでご覧いただけます。

- プレイリストのアップロードに対応：
  - [HP MediaSmart]の写真プレイリストは、Snapfish などのインターネット上の写真アルバムにアップロードできます。
  - [HP MediaSmart]のビデオ プレイリストは、YouTube にアップロードできます。
  - [HP MediaSmart]のプレイリストは、[CyberLink DVD Suite]（CyberLink DVD スイート）にエクスポートできます。
- Pandora インターネット ラジオ（北米のみ）：あなただけのために選ばれた音楽を、インターネット経由でストリーミングできます。

[HP MediaSmart]を起動するには、以下の操作を行います。

▲　デスクトップの**[HP MediaSmart]**アイコンをクリックします。

[HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、**[スタート]**→**[ヘルプとサポート]**の順に選択し、[検索]テキスト フィールドに「MediaSmart」と入力します。

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアの使用

プリインストールされているその他のマルチメディア ソフトウェアを確認するには、以下の操作を行います。

▲ **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを起動します。たとえば、[Windows Media Player]でオーディオ CD を再生する場合は、**[Windows Media Player]**をクリックします。

注記： サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

CD または DVD からマルチメディア ソフトウェアをインストールするには、以下の操作を行います。

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

注記： コンピューターに付属しているソフトウェアの使用について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はディスクに収録されていたり、ソフトウェアのヘルプに含まれていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

3 オーディオ

お使いのコンピューターでは、以下のさまざまなオーディオ機能を使用できます。

- コンピューターのスピーカーおよび接続した外付けスピーカーを使用した、音楽の再生
- 内蔵マイクまたは接続された外付けマイクを使用した、サウンドの録音
- インターネットからの音楽のダウンロード
- オーディオと画像を使用したマルチメディア プレゼンテーションの作成
- インスタント メッセージ プログラムを使用したサウンドと画像の送信
- ラジオ番組のストリーミング（一部のモデルのみ）または FM ラジオ信号の受信
- オーディオ CD の作成（書き込み）

外付けオーディオ デバイスの接続

⚠ **警告！** 突然大きな音が出て耳を傷めることがないように、音量の調節を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。安全に関する情報について詳しくは、『規定、安全、および環境に関するご注意』を参照してください。

外部スピーカー、ヘッドフォン、マイクなどの外付けデバイスの接続方法については、デバイスの製造元から提供される情報を参照してください。デバイスを良好な状態で使用できるよう、以下の点に注意してください。

- デバイス ケーブルがお使いのコンピューターの適切なコネクタにしっかりと接続されていることを確認します（通常、ケーブル コネクタは、コンピューターの対応するコネクタに合わせて色分けされています）。
- 外付けデバイスに必要なドライバーがある場合は、そのドライバーをインストールします。

注記： ドライバーは、デバイスとデバイスが使用するプログラム間のコンバーターとして機能する、必須のプログラムです。

オーディオ機能の確認

お使いのコンピューターのシステム サウンドを確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]**の順に選択します。
2. **[ハードウェアとサウンド]**をクリックします。

3. **[サウンド]**をクリックします。

4. [サウンド]ウィンドウが開いたら、**[サウンド]**タブをクリックします。**[プログラム]**でビープやアラームなどの任意のサウンド イベントを選択し、**[テスト]**ボタンをクリックします。

   スピーカーまたは接続したヘッドフォンから音が鳴ります。

コンピューターの録音機能を確認するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[サウンド レコーダー]**の順に選択します。

2. **[録音の開始]**をクリックし、マイクに向かって話します。デスクトップにファイルを保存します。

3. [Windows Media Player]または[HP MediaSmart]を開き、サウンドを再生します。

注記： 良好な録音結果を得るため、直接マイクに向かって話し、雑音がないように設定して録音します。

▲ コンピューターのオーディオ設定を確認または変更するには、タスクバー上の**[サウンド]**アイコンを右クリックするか、**[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[ハードウェアとサウンド]**→**[サウンド]**アイコンの順に選択します。

4　ビデオ

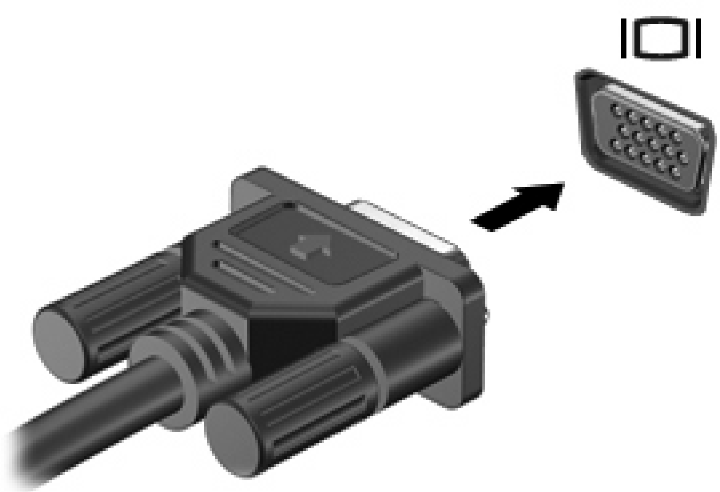
お使いのコンピューターでは、以下のさまざまな動画機能を使用できます。

- 動画の再生
- インターネットを介したゲーム
- プレゼンテーション作成のための画像や動画の編集
- 外付けビデオ デバイスの接続

外付けモニターまたはプロジェクターの接続

外付けモニター コネクタは、外付けモニターやプロジェクターなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピューターに接続するためのコネクタです。

▲ ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニター コネクタに接続します。



注記：　正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn + f4 を押して画像をデバイスに転送します。fn + f4 を繰り返し押すと、表示画面がコンピューター本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

HDMI デバイスの接続（一部のモデルのみ）

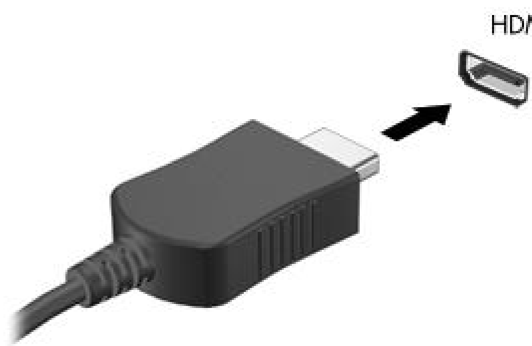
このコンピューターでは、HDMI（High Definition Multimedia Interface）コネクタを備えています。HDMI コネクタは、HD 対応テレビ、または対応するデジタルまたはオーディオ コンポーネントなどの別売のビデオまたはオーディオ デバイスとコンピューターを接続するためのコネクタです。

コンピューターは、HDMI コネクタに接続されている 1 つの HDMI デバイスをサポートすると同時に、コンピューター本体のディスプレイまたはサポートされている他の外付けディスプレイの画面をサポートできます。

注記： HDMI コネクタを使用してビデオ信号を伝送するには、一般の電器店で販売されている HDMI ケーブルを別途購入する必要があります。

HDMI コネクタにビデオまたはオーディオ デバイスを接続するには、以下の操作を行います。

1. HDMI ケーブルの一方の端をコンピューターの HDMI コネクタに接続します。



2. ビデオ デバイスの製造元の説明書を参照して、ケーブルのもう一方の端をビデオ デバイスに接続します。
3. コンピューターに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、コンピューターの fn ＋ f4 キーを押します。

HDMI を使用したオーディオの設定

最高の音質を得るには、お使いのコンピューターの HDMI コネクタに HD 対応テレビなどのオーディオまたはビデオ デバイスを接続し、メディア プログラムに[HP MediaSmart]を使用します。

また、コンピューターに搭載されているグラフィックス カードの種類を確認し、そのグラフィックス カードに対応したオーディオ再生の初期デバイスを設定しておく必要があります。

コンピューターに搭載されているグラフィックス カードの種類の確認

▲ コンピューターのキーボードのラベルを確認します。

または

1. **[スタート]**→**[コンピュータ]**→**[システムのプロパティ]**の順に選択します。
2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックしてから、**[ディスプレイ アダプタ]**の横のプラス（＋）記号をクリックします。

HDMI をオーディオ再生の初期デバイスに設定

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[サウンド]**アイコンの順に選択します。
2. **[再生]**タブ→**[デジタル出力デバイス（HDMI）]→[既定値に設定]**の順にクリックします。
3. **[OK]**をクリックします。
4. [HP MediaSmart]を起動するか、すでに実行中の場合は再起動します。

5　オプティカル ドライブ（一部のモデルのみ）

お使いのコンピューターには、コンピューターの機能を拡張する外付けオプティカル ドライブが搭載されている場合があります。外付けオプティカル ドライブを使用すると、データ ディスクの読み取り、音楽の再生や映画の鑑賞が可能になります。外付けオプティカル ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブである場合は、ディスクから HD 対応動画を再生することもできます。コンピューターに搭載されているデバイスの種類を確認してください。

取り付けられているオプティカル ディスク ドライブの確認

▲　**[スタート]→[コンピュータ]**の順に選択します。

オプティカル ディスクの使用

DVD-ROM ドライブなどのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）に対応しています。これらのディスクには、音楽、写真、および動画などの情報を保存します。DVD の方が、CD より大きい容量を扱うことができます。

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。オプティカル ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブである場合、ブルーレイ ディスクを読み取ることもできます。

注記：　一覧には、お使いのコンピューターでサポートされていないドライブが含まれている場合もあります。また、サポートされているオプティカル ドライブすべてが一覧に記載されているわけではありません。

以下の表に示すように、オプティカル ドライブによっては、オプティカル ディスクに書き込みができるものもあります。

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD±R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
スーパーマルチ DVD ±RW/CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可
LightScribe スーパーマルチ DVD±RW/CD-RW コンボ ドライブ（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	可

オプティカル ドライブの種類	CD-RW への書き込み	DVD±RW/R への書き込み	DVD±R DL への書き込み	LightScribe CD または DVD±RW/R へのラベルの書き込み
スーパーマルチ DVD ±R/RW 対応ブルーレイ ディスク ROM（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	不可
スーパーマルチ DVD ±R/RW 対応 LightScribe ブルーレイ ディスク ROM（2 層記録（DL）対応）	可	可	可	可

△ **注意：** オーディオまたはビデオの劣化や、情報または再生機能の損失を防ぐため、CD、DVD、BD の読み取り、CD または DVD への書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

正しいディスク（CD、DVD、および BD）の選択

オプティカル ドライブでは、標準的な CD や DVD ディスクの読み取りができます。オプティカル ドライブがブルーレイ ディスク ROM ドライブである場合、ブルーレイ ディスク（BD）を読み取ることもできます。デジタル データの保存に使用される CD は商用の録音にも使用されますが、個人的に保存する必要がある場合にも便利です。DVD および BD は、主に動画、ソフトウェア、およびデータのバックアップのために使用します。DVD と BD のフォーム ファクターは CD と同じですが、容量ははるかに大きくなります。

注記： お使いのコンピューターに取り付けられているオプティカル ドライブによっては、ここで説明しているすべての種類のオプティカル ディスクをサポートしていない場合もあります。

CD-R ディスク

CD-R（一度だけ書き込み可能）ディスクは、永続的なアーカイブを作成したり、仮想的にあらゆるユーザーとファイルを共有したりするときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいプレゼンテーションの配布
- スキャンした写真やデジタル写真、ビデオ クリップ、および書き込みデータの共有
- 独自の音楽 CD の作成
- コンピューターのファイルやスキャンした記録資料などの永続的なアーカイブの保存
- ディスク領域を増やすためのハードドライブからのファイルのオフロード

データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

CD-RW ディスク

CD-RW ディスク（再書き込みの可能な CD）は、頻繁にアップデートする必要のあるサイズの大きいプロジェクトを保存するときに使用します。通常は、以下の用途で使用します。

- サイズの大きいドキュメントやプロジェクト ファイルの開発および管理
- 作業ファイルの転送

- ハードドライブ ファイルの毎週のバックアップの作成
- 写真、動画、オーディオ、およびデータの継続的な更新

DVD±R ディスク

空の DVD±R ディスクは、大量の情報を永続的に保存するときに使用します。データを記録した後は、データを削除したり書き込んだりすることはできません。

DVD±RW ディスク

前に保存したデータを削除または上書きしたい場合は、DVD±RW ディスクを使用します。この種類のディスクは、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録テストをするのに最適です。

LightScribe DVD+R ディスク

LightScribe DVD+R ディスクは、データ、ホーム ビデオ、および写真を共有または保存するときに使用します。このディスクは、ほとんどの DVD-ROM ドライブや DVD ビデオ プレーヤーでの読み取りに対応しています。LightScribe が有効なドライブと LightScribe ソフトウェアを使用すると、ディスクにデータを書き込むだけでなく、ディスクの外側にラベルをデザインして追加することもできます。

ブルーレイ ディスク（BD）

BD は、HD 対応動画などのデジタル情報を保存するための高密度オプティカル ディスク フォーマットです。1 枚の 1 層式ブルーレイ ディスクで 25 GB まで保存でき、これは 4.7 GB の 1 層式 DVD の 5 倍以上の容量です。2 層式のブルーレイ ディスクでは 1 枚で 50 GB まで保存でき、これは 8.5 GB の 2 層式 DVD の 6 倍近くの容量になります。

通常は、以下の用途で使用します。

- 大量のデータの保存
- HD 対応動画の再生と保存
- ビデオ ゲーム

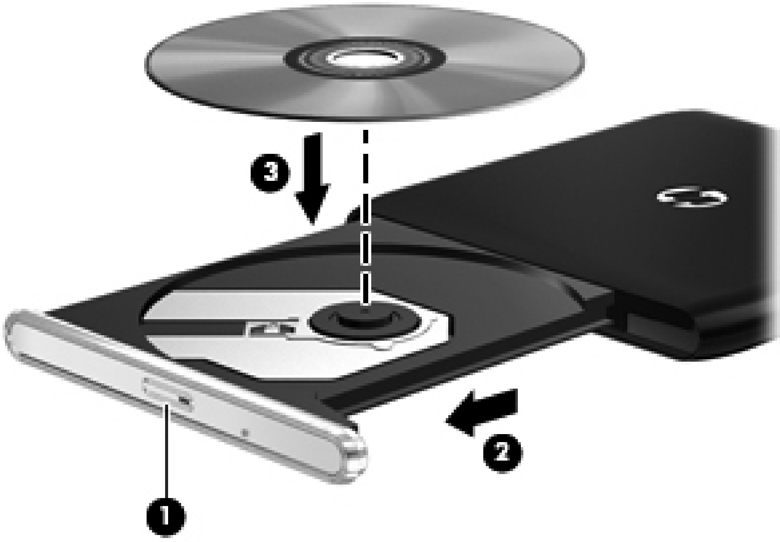
注記： ブルーレイは新技術を搭載した新しいフォーマットであるため、一部のディスク、デジタル接続、互換性、またはパフォーマンスに問題が起こる可能性がありますが、これは欠陥ではありません。すべてのシステム上での完全な再生は保証されていません。

音楽の再生

1. コンピューターの電源を入れます。
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

   注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。



6. ディスク トレイを閉じます。

7. 自動再生の動作を設定していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。[HP MediaSmart]または[Windows Media Player]を選択します。これらはどちらもお使いのコンピューターにプリインストールされています。

注記： ディスクの挿入後、プレーヤーの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断する場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再起動し、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

動画の再生

オプティカル ドライブを使用して、ディスクの動画を鑑賞できます。別売のブルーレイ ディスク ROM ドライブがコンピューターに搭載されている場合は、HD 対応動画の鑑賞もできます。

1. コンピューターの電源を入れます。

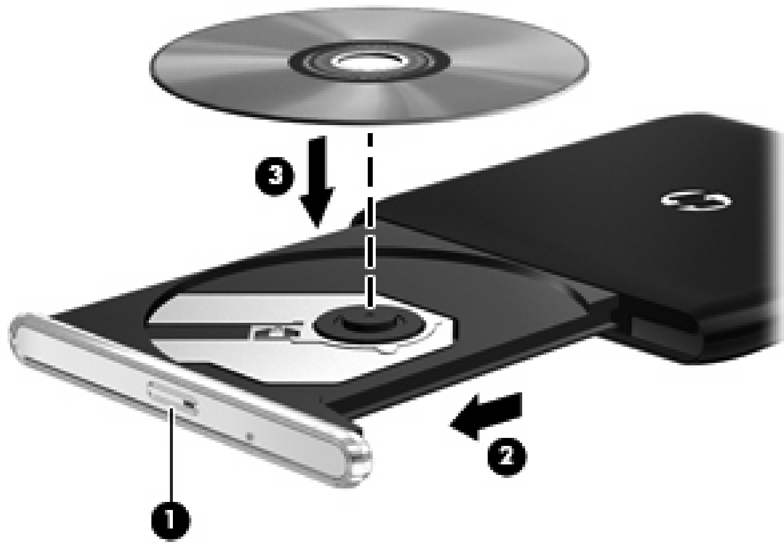
2. オプティカル ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押して、ディスク トレイが少し押し出された状態にします。

3. トレイを引き出します（**2**）。

4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸の上に置きます。

注記： ディスク トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。

5. 確実に収まるまで、ディスクをゆっくり押し下げます（3）。



6. ディスク トレイを閉じます。

7. メディア ボタンを押してから[DVD]アイコンをクリックして、[HP MediaSmart]の DVD 再生機能を起動した後、画面の説明に沿って操作します。

注記： HD 対応動画を鑑賞するには、[HP MediaSmart]を使用する必要があります。標準的な形式の動画を再生するには、[HP MediaSmart]またはその他のマルチメディア ソフトウェアを使用できます。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードによって著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

注意： DVD ドライブの地域設定は、5 回までしか変更できません。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブで地域設定を変更できる残りの回数が、[DVD 地域]タブに表示されます。

オペレーティング システムで設定を変更するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[コンピュータ]→[システム プロパティ]**の順に選択します。

2. 左側の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。

注記： Windows には、コンピューターのセキュリティを高めるためのユーザー アカウント調整機能が含まれています。ソフトウェアのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行うときに、ユーザーのアクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、[ヘルプとサポート]を参照してください。

3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。
4. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**を右クリックし、地域の設定を変更する DVD ドライブを右クリックして、**[プロパティ]**をクリックします。
5. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
6. **[OK]**をクリックします。

CD および DVD の作成または「書き込み」

△ **注意：** 著作権に関する警告に従ってください。コンピューター プログラム、映画や映像、放送内容、録音内容などの著作権によって保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法に違反する行為です。コンピューターをそのような目的に使用しないでください。

お使いのコンピューターに CD-RW、DVD-RW、または DVD±RW のオプティカル ドライブが搭載されている場合は、[Windows Media Player]または[CyberLink Power2Go]などのソフトウェアを使用して、MP3 や WAV 音楽ファイルなどのデータ、動画、およびオーディオ ファイルを書き込むことができます。

CD または DVD に書き込むときは、以下のガイドラインに従ってください。

- ディスクに書き込む前に、開いているファイルをすべて終了し、すべてのプログラムを閉じます。
- CD-R や DVD-R は、情報をコピーした後は変更できないため、通常はオーディオ ファイルの書き込みに最適です。

  注記： [CyberLink Power2Go]では、オーディオ DVD を作成することはできません。
- ホーム ステレオやカー ステレオによっては CD-RW を再生できないものもあるため、音楽 CD の書き込みには CD-R を使用します。
- CD-RW や DVD-RW は、一般的にはデータ ファイルの書き込みや、変更できない CD または DVD に書き込む前にオーディオや動画の記録をテストする場合に最適です。
- ホーム システムで使用される DVD プレーヤーは、通常、すべての DVD フォーマットに対応しているわけではありません。対応しているフォーマットの一覧については、DVD プレーヤーに付属の説明書を参照してください。
- MP3 ファイルは他の音楽ファイル形式よりファイルのサイズが小さく、また、MP3 ディスクを作成するプロセスはデータ ファイルを作成するプロセスと同じです。MP3 ファイルは、MP3 プレーヤーまたは MP3 ソフトウェアがインストールされているコンピューターでのみ再生できます。

CD または DVD にデータを書き込むには、以下の操作を行います。

1. 元のファイルを、ハードドライブのフォルダーにダウンロードまたはコピーします。
2. 空の CD または DVD を、オプティカル ドライブに挿入します。
3. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するプログラムの名前を選択します。

   注記： サブフォルダーに含まれているプログラムもあります。
4. データ、オーディオ、またはビデオなど、作成する CD または DVD の種類を選択します。

5. **[スタート]→[エクスプローラ]**の順に右クリックして、元のファイルを保存したフォルダーに移動します。

6. フォルダーを開き、空のオプティカル ディスクのあるドライブにファイルをドラッグします。

7. 選択したプログラムの説明に沿って書き込み処理を開始します。

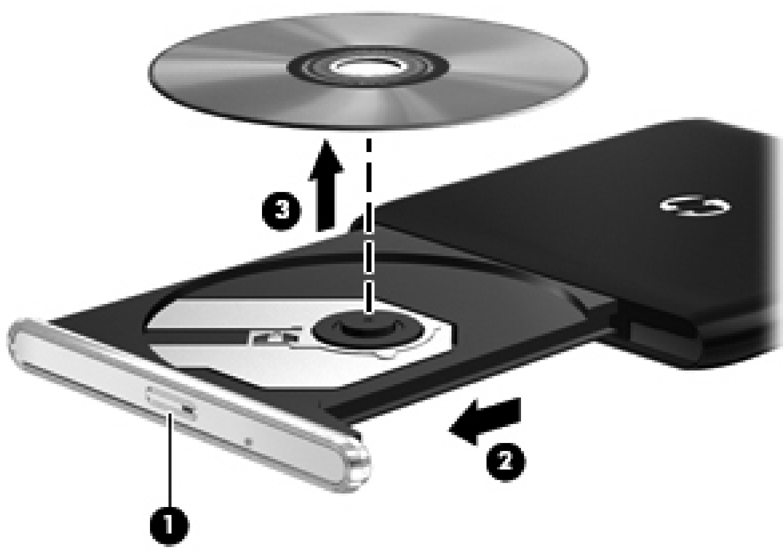
手順について詳しくは、ソフトウェアの製造元の説明書を参照してください。これらの説明書はソフトウェアに含まれていたり、ディスクに収録されていたり、または製造元の Web サイトで提供されていたりする場合があります。

オプティカル ディスク（CD、DVD、または BD）の取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してディスク トレイを開き、トレイをゆっくりと完全に引き出します（**2**）。

2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。



3. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

6　Web カメラ

お使いのコンピューターには、ディスプレイの上部に Web カメラが内蔵されています。Web カメラは、動画の取り込みと共有を可能にする入力デバイスです。

Web カメラを使用するには、デスクトップの**[HP MediaSmart]**アイコンをクリックし、[HP MediaSmart]の[SmartMenu]から該当するアイコンを選択して**[Webcam]**をクリックします。

注記：　[HP MediaSmart]の使用方法について詳しくは、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択し、[検索]テキスト フィールドに「MediaSmart」と入力します。

パフォーマンスを最適にするために、Web カメラを使用するときには以下のガイドラインを参考にしてください。

- マルチメディア ファイルを閲覧したり、別の LAN またはネットワーク ファイアウォール外のユーザーへマルチメディア ファイルを送信したりするときに問題が生じる場合は、ファイアウォールを一時的に無効にして目的のタスクを実行した後で、ファイアウォールを再度有効にします。問題を恒久的に解決するには、必要に応じてファイアウォールを再設定したり、他の侵入検知システムのポリシーや設定を調整したりします。
- できる限りカメラの後方から明るい光源を当て、写真領域の外に移動してください。

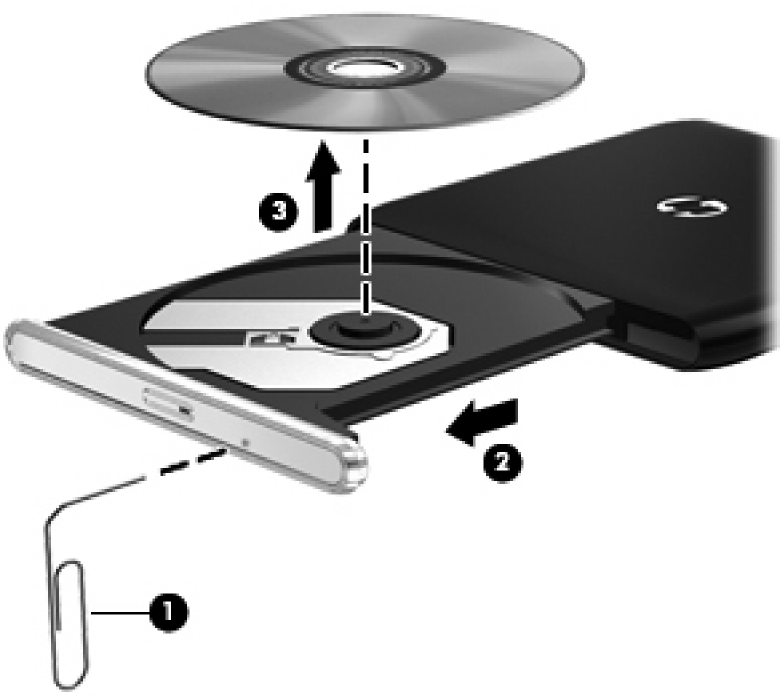
7　トラブルシューティング

ここでは、一般的な問題と解決方法について説明します。

オプティカル ディスク トレイが開かず、CD、DVD、または BD を取り出せない場合

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、ディスク トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記：　トレイが完全に開かない場合は、ディスクを注意深く傾けて回転軸の上に置いてください。



4. ディスク トレイを閉じ、取り出したディスクを保護ケースに入れます。

コンピューターがオプティカル ドライブを検出しない場合

オプティカル ドライブをコンピューターが検出しない場合は、デバイス ドライバー ソフトウェアがなくなったか壊れている可能性があります。オプティカル ドライブが検出されていないことが疑われる場合は、そのオプティカル ドライブが[デバイス マネージャ]ユーティリティに一覧表示されていることを確認してください。

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、[検索の開始]ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上に一覧表示されます。
3. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、**[DVD/CD-ROM ドライブ]**の横のプラス記号（＋）をクリックします。オプティカル ドライブの一覧を確認します。

   ドライブが表示されていない場合は、「デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合」セクションの説明に沿って、デバイス ドライバーをインストール（または再インストール）します。

ディスクが再生されない場合

- CD、DVD、または BD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- CD、DVD、または BD を再生する前にインターネットをログオフします。
- ディスクを正しく挿入していることを確認してください。
- ディスクが汚れていないことを確認します。必要に応じて、ろ過水や蒸留水で湿らせた柔らかい布でディスクを清掃します。ディスクは中央から端の方に向かって拭いてください。
- ディスクに傷がついていないことを確認します。傷がある場合は、一般の電器店や CD ショップなどで入手可能なオプティカル ディスクの修復キットで修復を試みることもできます。
- ディスクを再生する前にスリープ モードを無効にします。

  ディスクの再生中にハイバネーションまたはスリープを開始しないでください。開始する場合、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。[いいえ]をクリックすると次のようになります。

  - 再生が再開します。

  または

  - マルチメディア プログラムの再生ウィンドウが閉じます。ディスクの再生に戻るには、マルチメディア プログラムの**[再生]**ボタンをクリックしてディスクを再起動します。場合によっては、プログラムを終了してから再起動する必要が生じることもあります。
- システムのリソースを増やします。
  - プリンターやスキャナーなどの外付けデバイスの電源を切ります。外付けデバイスを切断することで、システム リソースが解放され、再生パフォーマンスが向上されます。
  - 16 ビットを超える色の違いは人間の目では簡単に見分けられないため、以下の方法でシステムの色のプロパティを 16 ビットの色に下げても、動画の再生時の色の違いは気にならないでしょう。

1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。

2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。

ディスクが自動的に再生されない場合

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[CD または他のメディアの自動再生]**の順に選択します。
2. **[すべてのメディアとデバイスで自動再生を使用する]**チェック ボックスにチェックが入っていることを確認します。
3. **[保存]**をクリックします。

これで、CD、DVD、または BD をオプティカル ドライブに挿入したときに自動的に再生されます。

動画が停止したりコマ落ちしたりする場合や、再生が不安定な場合

- ディスクを清掃します。
- 以下の操作を実行して、システム リソースを節約します。
  - インターネットからログオフします。
  - デスクトップの色のプロパティを変更します。

    1. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。

    2. 設定がまだ選択されていない場合は、**[画面の色]**を**[中（16 ビット）]**に設定します。
  - プリンター、スキャナー、カメラ、携帯電話などの外付けデバイスを取り外します。

DVD の動画が外付けディスプレイに表示されない場合場合

1. コンピューターのディスプレイと外付けディスプレイの両方の電源が入っている場合は、fn ＋ f4 を 1 回以上押して、表示画面をどちらかに切り替えます。
2. 外付けディスプレイがメインになるように、モニターの設定を行います。
   a. コンピューター デスクトップの空いている場所を右クリックし、**[個人設定]→[画面の設定]**の順に選択します。
   b. メイン ディスプレイとセカンダリ ディスプレイを指定します。

注記： 両方のディスプレイを使用する場合は、DVD の画像はセカンダリ ディスプレイとして指定したディスプレイには表示されません。

マルチメディアに関して、このガイドで説明されていない質問について情報を得るには、**[スタート]→[ヘルプとサポート]**の順に選択します。

ディスクへの書き込み処理が行われない、または完了する前に終了してしまう場合

- 他のプログラムがすべて終了していることを確認します。
- スリープ モードおよびハイバネーションを無効にします。
- お使いのドライブに適した種類のディスクを使用していることを確認します。ディスクの種類について詳しくは、ディスクに付属の説明書を参照してください。
- ディスクが正しく挿入されていることを確認します。
- より低速の書き込み速度を選択し、再試行します。
- ディスクをコピーしている場合は、コピー元のディスクのコンテンツを新しいディスクに書き込む前に、その情報をハードドライブへコピーし、ハードドライブから書き込みます。
- [デバイス マネージャ]の[DVD/CD-ROM ドライブ カテゴリ]にあるディスク書き込みデバイスのドライバーを再インストールします。

DVD を[Windows Media Player]で再生したときに音や画面が出ない場合

[HP MediaSmart]を使用して DVD を再生してください。お使いのコンピューターには[HP MediaSmart]がプリインストールされています。

▲ [HP MediaSmart]を使用するには、デスクトップの**[HP MediaSmart]**アイコンをクリックします。

デバイス ドライバーを再インストールする必要がある場合

1. オプティカル ドライブからディスクを取り出します。
2. **[スタート]**をクリックし、**[検索の開始]**ボックスに「デバイス マネージャ」と入力します。

   入力すると、検索結果がボックスの上の枠内に一覧表示されます。
3. 検索結果の枠内で、**[デバイス マネージャ]**をクリックします。ユーザー アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。
4. [デバイス マネージャ]で、マイナス記号（－）がすでに表示されている場合を除き、アンインストールまたは再インストールするドライバーの種類（DVD/CD-ROM、モデムなど）の横にあるプラス記号（＋）をクリックします。
5. 表示されているドライバーをクリックし、delete キーを押します。確認のメッセージが表示されたら、ドライバーを削除したことを確認してください。ただし、コンピューターは再起動しないでください。

   削除するその他のすべてのドライバーでこの操作を繰り返します。
6. [デバイス マネージャ]ウィンドウで、ツールバーの**[ハードウェア変更のスキャン]**アイコンをクリックします。Windows はシステムをスキャンしてインストールされているハードウェアを検出し、ドライバーを必要とするデバイスに対して初期設定のドライバーをインストールします。

注記： コンピューターを再起動する画面が表示された場合は、開いているファイルをすべて保存してから再起動を続行します。

7. 必要に応じて[デバイス マネージャ]を再び開き、ドライバーが表示されていることをもう一度確認します。

8. デバイスを使用します。

初期設定のデバイス ドライバーをアンインストールまたは再インストールしても問題が解決されない場合は、以下の項目の手順に沿ってドライバーを更新する必要があります。

最新の HP デバイス ドライバーの入手

HP デバイス ドライバーを入手するには、以下のどちらかの手順で操作します。

[HP Update Utility]を使用するには、以下の操作を行います。

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]→[HP]→[HP Update]**（HP アップデート）の順に選択します。

2. [HP Welcome]（HP へようこそ）画面で、**[Settings]**（設定）をクリックし、ユーティリティが Web 上でソフトウェアの更新を確認する方法および時間を選択します。

3. **[Next]**（次へ）をクリックして HP のソフトウェアの更新を確認します。

HP の Web サイトを使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて、http://www.hp.com/jp/support/を表示します。

2. [ドライバ＆ソフトウェアをダウンロードする]オプションをクリックし、お使いのコンピューターの製品名または製品番号を[製品名・番号で検索]フィールドに入力します。

3. enter キーを押し、画面の説明に沿って操作します。

Microsoft デバイス ドライバーの入手

[Microsoft Update]を使用すると、最新の Windows デバイス ドライバーを入手できます。この Windows の機能では、Windows オペレーティング システムおよび Microsoft®社のその他の製品の更新を自動的に確認し、インストールするように設定できます。

[Microsoft Update]を使用するには、以下の操作を行います。

1. インターネット ブラウザーを開いて http://www.microsoft.com/ja/jp/default.aspx を表示してから、**[セキュリティ]**をポイントします。

2. **[Microsoft Update]**をクリックしてコンピューターのオペレーティング システム、プログラム、およびハードウェアの最新の更新情報を入手します。

3. 画面の説明に沿って操作し、[Microsoft Update]をインストールします。ユーザー アカウント制御のウィンドウが表示されたら、**[続行]**をクリックします。

4. **[変更する]**をクリックして、[Microsoft Update]で Windows オペレーティング システムおよび Microsoft 社のその他の製品のアップデートを確認する時間を選択します。

5. コンピューターの再起動を求めるメッセージが表示されたら、コンピューターを再起動します。

索引